

生産性を落とさないテレワークを自社製品で実践中！ モラルハザード(さぼり)を防ぎ チームコミュニケーションを落とさない仕組みと製品

データセキュリティーカンパニーの株式会社フーバーブレイン(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:奥水 英行)では、在宅勤務などのテレワーク制度の設計・導入に WEB 会議システムと自社製品を活用し、「生産性を落とさない」取り組みをおこなっています。



在宅勤務者ともオフィスにいるのと同じようなコミュニケーションを可能にする仕組みを実践

当社は、新型コロナウイルスによる肺炎感染被害の広がりを受け、通勤時間の分散化と、週一回に限定していた在宅勤務の制限をこの2月に撤廃しました。

在宅勤務の利用を推奨しつつ、生産性を落とさないテレワーク制度とするために、導入していたテレビ会議システムの応用と、自社製品を自ら活用することで、在宅勤務者・オフィス勤務者が共に生産性の維持・向上に取り組んでいます。

当社では、以前からフレックスタイム制の導入、週一回の在宅勤務制度を整備し、柔軟な働き方を推進していましたが、今年の夏季東京オリンピック時の交通機関ひっ迫を念頭に、より積極的なテレワーク制度の設計・導入の必要性を検討していました。1月下旬からの新型コロナウイルスによる肺炎感染被害の広がりを受け、テレビ会議システムの応用と自社製品を活用し、テレワーク制度の前倒し導入と、生産性を落とさない取り組みをおこなっています。

■在宅勤務とオフィス勤務間のコミュニケーションを落とさない

当社は、WEB 会議システムを応用して在宅勤務者とオフィス勤務者の円滑なコミュニケーションの実現に取り組んでいます。

当社のテレワーク制度の設計・導入において重要視したのは「生産性を落とさない」という点です。生産性を落と

さないテレワーク制度の実現に必要な要件として、「コミュニケーションの質を落とさない」ことが第一と考え、WEB 会議システムを応用しています。オフィスと自宅の離れた環境間でも、WEB 会議システムを通じて常に顔が見えて、お互いがコミュニケーション可能な状態かを確認しあえることで、円滑なコミュニケーションの維持に取り組んでいます。

在宅勤務者は、在宅勤務開始時に WEB 会議システムにログインし、勤務終了までログインし続けます。オフィスでは、在宅勤務者の在席状況を投影し、オフィス勤務者が在宅勤務者の在席状況をすぐに確認できる環境を整えています。

在宅勤務者がコミュニケーション可能な状況かを見える化することで、オフィス内外間で発生しがちなコミュニケーションの行き違いをなくし、時間のロスを防ぐことで、「コミュニケーションの質を落とさない」テレワーク制度を実現しています。



在宅勤務者や上席者がテレビ会議システムに常時ログイン
オフィス内に在席状況を投影

■ 自社製品を活用し生産性を落とさないテレワークを实践

当社はテレビ会議システムに加え、自社開発の生産性向上製品を自ら活用し、生産性を落とさないテレワーク制度の実現に取り組んでいます。

テレワーク制度の設計・導入に向けては、様々な課題があります。従業員の勤怠状況や業務の進捗状況の把握や、機密情報の取り扱いについてのチェックなど、VPN(仮想私設網)などのインフラ環境整備だけでなく、いかに生産性を落とさないテレワーク制度を設計・導入できるかが重要です。

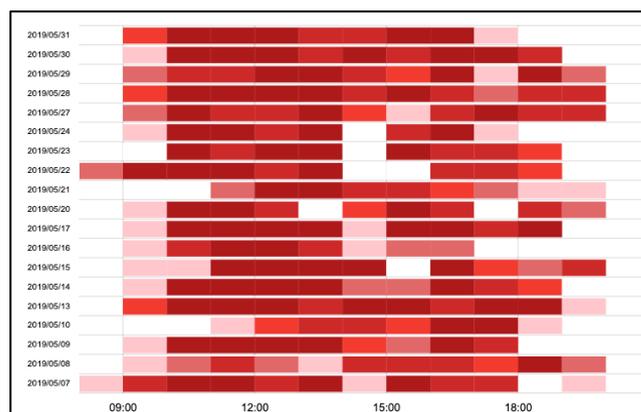
当社の生産性向上製品「Eye”247” Work Smart(ワークスマート)」は、情報機器の作業情報を収集し、従業員の業務状況を見える化します。作業状況をヒートマップ表示し、集中度合いや勤務状況が一目で確認できます。

さらに、ヒートマップ上の気になる時間帯をクリックすると、具体的な作業内容が把握でき、業務の進捗状況や、適正な勤務かどうかを確認できます。

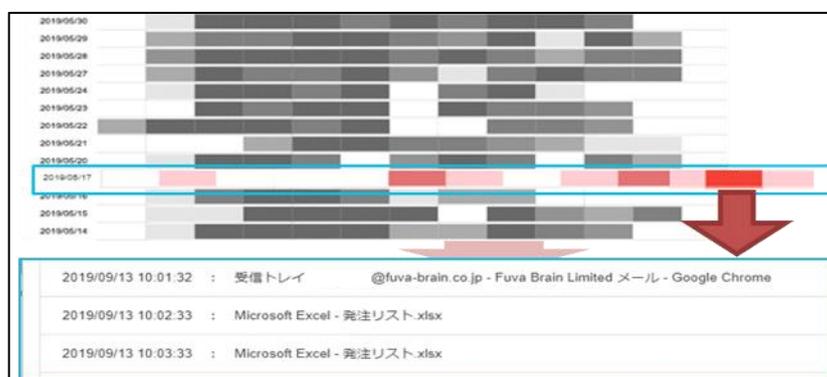
在宅勤務で発生しうるモラルハザード(さぼり)や、オフィス勤務でも発生しうる過剰勤務の防止を実現します。

また、ワークスマートによって収集される作業情報から、各従業員が作業しているファイルを把握できるので、機密情報の取り扱いも見える化します。

当社では、ワークスマートを全従業員に導入し、在宅勤務者・オフィス勤務者問わず、勤務状況・業務内容の把



情報機器の作業状況をヒートマップ表示
従業員の集中度合い、勤務状況をビジュアル化



情報機器の作業状況を示すヒートマップから、各時間帯の具体的な作業内容を確認

握を可能にすることで、適時適切なマネジメントが可能とし、在宅勤務者・オフィス勤務者の生産性の維持・向上に取り組んでいます。

当社は今後、全従業員が常時テレビ会議システムにログインし、それぞれの勤務場所にとられないコミュニケーションを実現し、従業員が働きたい場所で働ける環境を推進します。

また、ワークスマートの自社活用から得られる課題を製品開発にいかし、さらに生産性向上につながるよう機能・品質向上に取り組めます。

■株式会社フーバーブレインについて

当社は、情報セキュリティソリューション事業を営んでいます。当社が提供する情報セキュリティソリューションは、情報通信技術（ICT）を悪用した外部からの不正プログラム（マルウェア）攻撃に対する防御の提供と、企業の内部関係者による情報データベースへの不正アクセス、情報漏洩等を防止する対策に加え、業務状況の可視化による業務効率改善並びに働き方分析の支援を行っています。また当社は、これからの第4次産業革命に向けた成長の加速を支援します。

【会社概要】

- 会社名： 株式会社フーバーブレイン
代表： 代表取締役社長 奥水 英行
本社： 〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 4-1 ニューオータニガーデンコート 22F
TEL. 03-5210-3061（代表）
ホームページ： <https://www.fuva-brain.co.jp/>
設立： 2001年5月8日
資本金： 283,880,000円（2019年12月31日現在）（東京証券取引所市場マザーズ：証券コード3927）
事業内容： ●コンピュータセキュリティのコンサルティング
●コンピュータソフトウェアの開発、販売
●コンピュータのユーザサポート
●ソフトメーカーの業務代行サービス